



- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元氣な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長
樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水 隆史さん フォトグラフィアーほか
常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェエダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシー工設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができたまで 平成20年3月26日
講師/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「薬何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野ハルセイロー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出 陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしよ/代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川 了洋さん AC長野ハルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目につかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システムス所属
- 第26回 Go to J ～J～を長野に…いよいよ地域決勝大会!～ 平成22年10月25日
講師/鈴木 政一さん 長野ハルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日
講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室 繪絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって°ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日
講師/薩川 了洋さん AC長野ハルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師/矢澤 秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日
講師/栗田 貞多男さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野ハルセイロー一私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
講師/美濃部 直彦さん AC長野ハルセイロ監督

第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師/浅野 邦子さん 株式会社 第一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日
講師/本田 美登里さん AC長野ハルセイロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日
講師/小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気づくる「成長企業」は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～ 平成27年7月1日
講師/廣井 紀文さん 株式会社ティータス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト

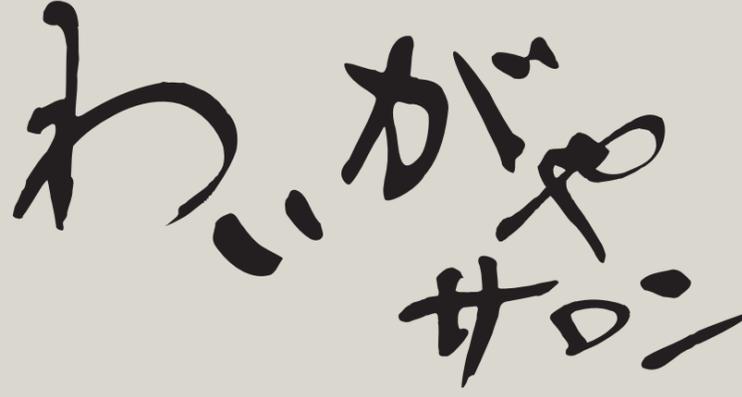
第56回 摩訶不思議! 長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日
講師/齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日
講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日
講師/平山 優さん 歴史研究家



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute
NPO法人 長野都市経営研究所
〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 59
2016.9



寺町商家(旧金箱家住宅)表門



NPO法人 長野都市経営研究所

第59回

寺町商家の運営で気づいた「食」の力

平成28年8月30日(火) 18:00~20:00

講師／西村 知子さん

寺町商家運営アドバイザー

■座長：岩野 彰 場所／NUPRI事務所

台風10号の余雨が上がった晩夏の「わいがやサロン」は久しぶりに会場をNUPRI事務所に戻して開かれました。市内松代にある長野市有形文化財・旧金箱家住宅が、数年にわたる大規模な保存修景工事を終えて「寺町商家」としてオープンしたのは昨年4月のこと。その運営に携わる西村知子さんが気づいた「食」の力とは――。

私と「食」との関わりなど

私の出身は松代、といっても町から外れた山のほう。小さいときは高速道を造っていた現場で遊んでは叱られるような子で、中学高校時代の生活圏は更北や川中島でした。ITが動き出したころだったので理系短大に進学卒業。長野市内の医療機器ベンチャーに入社したのですが、自分が目指しているのはここだろうか考えるうちに、小学時代に工場見学で知った「パン」が浮かんで退社決意。地元近くや軽井沢でパン製造に携わった後、ベーカリーレストランへ。そこでメニューづくりや料理を出す仕事をする事になり、いろいろ教えてもらいました。

私は1年ごとに考えます。そこらしさは何？自分はここに居るべきかとか。東京のパン屋に転職し、どうせ住むならと、このころから話題になっていたシェアハウスに3軒移り住みました。ホームシックになっても仕事が大変でも、皆と話せば楽しい。社会人、ときには学生、外国人のハウスメイトと支え合う。こんな世界もあるのだな、物事を一方的に見るのではなくいろいろな角度から見れるんだ。そんな「コミュニティ」を知りました。

親は元々農業をやっているわけではないのですが、母が作った野菜が売れるので父も手伝い始めていました。作るのは根菜類＝土地(砂地)に合っている野菜。家に重機があったことと近所のお年寄りたちが「もうやれないから使ってくれ」というわけで畑が前は1haだったのが2ha、まもなく3haに達します。パン屋をやるか？いや農業を継いでもいい。農業書を読み漁るうちに「6次産業化、という言葉が目に入り、自分ならどうするかを考えました。

そんなとき、知り合いから長野県農政部農産物マーケティング室が「おいしい信州ふーど」を立ち上げ、人員募集していると教えられ、応募。いきなり6次産業化推進員を任命され、長野県で農業で食べていくにはどうしたらよいか頭を巡らせ、売り上げのよ



にしむら ともこ 1982年長野市松代町生まれ、同在住。県内の理系短大卒業後、長野市内のベンチャー企業に入社。その後、パン製造、長野県農政部嘱託職員等を経て2015年4月より現職。長野市有形文化財施設 寺町商家運営アドバイザー、NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会理事。

いところや関東農政局等に出向く毎日に。そろそろ任期が終わりそうとなったとき、東京で信州の情報を発信する「銀座NAGANO」ができるらしい、イベント担当がいている、という話。採用され、長野県の農産物・特産物のパイヤー役を務めました。長野に戻ってからNPO 法人「夢空間松代のまちと心を育てる会」(以下、夢空間)や「松代若者会議」にも席を置いて、地元松代のことを仲間と考え、活動していました。

文化財施設の運営へ

寺町商家に行かれた方いますか？松代城下町のお寺がいっぱい集まっている通りの一角、江戸末期から昭和初期にかけて質屋などを営んでいた金箱家の屋敷だったところです。初代は地蔵峠で茶屋をやっていた松代に下ってきました。津和村(信州新町)の



■主屋

栗屋地区出身であるため栗屋勘蔵とも名乗り(2代目も)、質蔵の屋根に屋号「栗勘」の瓦が残ります。生糸、林業、松代牛乳組合、郵便局も営み、明治5年の松代大火で被害を被ったお寺の再建や真田家にも力を貸したようです。

屋敷は傷みが激しく、保存が危ぶまれましたが専門調査した結果、松代における明治期の豊かな商家の暮らしぶりを伝える貴重な資料であるとして長野市が取得し長野市指定有形文化財に(2012年)。市と国で保存修景工事して昨年4月、開館。私が運営アドバイザーとして常駐することになりました。

見る文化財から使える文化財へ

文化財は、多くの人は一回見ると気が済みますよね。一度来た人は多分10年は来ない。何回も来てもらうためにはどうしたらいい？ワークショップが開かれ導き出したのは、見る文化財ではなく使える文化財にしようということ。そのため、貴重資料として展示もするが貸しスペース可、また文化財としては珍しく、火を使える厨房もある設計が実現しました(地元有志・夢空間の粘りの結果だと思います)。

厨房があれば食にまつわるイベント範囲が広がります。全国各地で展開されている「ワンデイシェフ」も可能(松代では「エコール・ド・まつしろ」の頃からワンデイシェフとしての経験を積んでいるグループ「なごみ」も存在していました)。ほかに何かあるだろう・・・と、この一年間に取り組んできたことの一部と今後の課題を紹介します。

コミュニティ・レストラン＝ワンデイシェフ 素人が1日だけシェフになってランチを提供/毎月数回開催/伝統食を継承する「なごみ」・男性中心の「穀菜食堂」ほか数組が登録/プロを目指している人、料理好きな人が「試しにやってみよう」と挑戦できるのが魅力。

食のイベント「箱膳体験」 今は姿を消した「箱膳」で和食をマナーも学びつつ味わう。松代の町巡りもセット。

毎日ランチ/喫茶 いつでもここに来ればランチ・喫茶が出来ることが重要。メニューは「杏おこわ」やスタッフが誰でも作れるもの(カレー等)。*松代らしい食として誕生。杏は千曲市が有名ですが、元々は愛媛から松代の殿様にお興入れした豊姫が苗を持参したもの。町内でも食せず(4店)。

課題：「飲、食 松代が発祥の盃事「北信流」体験イベントを催したい。そのためにはお酒提供の要許可。北信流に欠かせない謡など芸事をしている方が多いのも松代の強み。

食事は誰にとっても欠かせないこと。気軽な気分で食にまつわるイベント、ランチにおいでください。他イベント含め、HPで発信しています。

失敗したっていい。踏み出そう。

文化財「寺町商家」が地域の人々のよりどころ、自然なかたちのコミュニティの場となればいいなと活動しています。この頃も近所のおばあさんが入ってきて昔のことを話していつてくれました。寺町商家の指定管理援助(10年)が終了するまでに自力で動かせる力をつけなといけません。でも、焦ってはいけません。失敗したっていい、目の前に何かがあるなら手を挙げよう、踏み出そう。やってみないと分からないのだから。

聞いていただき、ありがとうございました。

講演後は「先を見て動く。若い方に改めて教えられた」「ワンデイシェフの料理や杏おこわが食べたくなった」等々わいわいがやがや盛り上がりしました。



■質蔵 「寺町商家」は気軽に入ってもらえるよう入館料はとらず、コンサート・各種講習会など地域交流の拠点ともなる貸しスペースの利用料は低料金に設定



■北之蔵 北之蔵。土壁の内側には鉄の梁が巡らされている。南之蔵は壁と天井が鉄板張り等、質屋独特の造りを随所に見ることが出来る



■ワンデイシェフ ワンデイシェフ、松代ならではの杏おこわ、箱膳体験…「食」は運営上の要

